

令和5年9月手話定期便 「信州 火山防災の日」の制定

長野県は、全国でも有数の火山県であり、過去、幾度となく火山災害が発生し、御嶽山では平成26年9月27日の噴火で多数の登山者が巻き込まれる甚大な被害をもたらしました。御嶽山噴火災害を風化させることなく、火山防災に係る意識の向上と防災対策の一層の推進に継続的に取り組み、併せて火山及び周辺地域の魅力発信による地域振興に寄与するため、毎年9月27日を「信州 火山防災の日」と制定しました。毎年8月28日から9月27日までの1か月間を「信州 火山防災月間」とし、各種行事や情報発信を重点的に取り組む期間とします。

登山時の注意点

火山登山には多くの魅力がありますが、それと同時に噴火等のリスクもあります。

平成26年9月27日の御嶽山噴火では、多くの登山者が巻き込まれるなど、多くの被害がもたらされました。

登山する場合には、登山前に情報収集や連絡手段の確保等確認し、自らの身を守る備えを行いましょう。

1. 火山情報を収集する

まず、登ろうとする山が火山かどうか確認しましょう。

火山であれば、火山に対する正しい知識を持つことが大切です。

気象庁のホームページ等から、噴火レベルや火山防災マップ等の情報を確認しましょう。

2. 登山届を提出する

登山届制度が導入されている火山には、必ず登山計画書を作成し、提出しましょう。

3. 必要なものを装備する

火山の状態や特性を踏まえ、必要なものを装備してください。

○火山防災マップ(登山前に避難場所を確認しましょう)

○携帯電話等の通信機器、予備電源

○雨具・タオル・ヘッドライト・ゴーグル

○ヘルメット

○非常食・飲料水

○登山地図・コンパス

4. 登山中も常に注意する

○登山中も、気象庁のホームページ等からの情報収集を怠らないようにしましょう。

○噴気孔や噴気地帯の窪地などの危険な場所には、絶対に立ち入らないでください。

○異常を発見した場合には下山するとともに、市町村・警察・消防に速やかに連絡しましょう。

○噴火時は、山小屋や岩陰などに一時避難しましょう。また、ヘルメット・ゴーグルを着用し、マスクや湿らせたタオルなどで口を覆い、噴火が収まったら直ちに下山しましょう。